

4章 保育の3つの工夫

環境の工夫（アイデアのたね）～素材の工夫～

子どもの興味関心を活かし、体験の質が高まるような素材の工夫

竹って面白い～興味が広がる素材の工夫～

幸田町立大草保育園（愛知県）

保育者の工夫

子どもたちから「竹を切りたい」「竹でもっと大きい海賊船を作ろうよ」「竹で楽器を作ろうよ」など今まで経験したことが力となり、自分たちが挑戦したいことを伝えてきた。子どもたちの期待や意気込みを大切に、子どもならではのアイデアを活かせる環境を考えた。

地域の方からの情報を自分たちの遊びに活かす～竹鉄砲～

子どもの姿



竹の山の近くにある公園で出会った“ボーイスカウトのおじさん”から、竹鉄砲を教えていただく。園に戻って竹筒で竹の吹き矢を考えて作った。玉はティッシュを詰め吹き矢のように口で吹く。さらに、紙筒で作る鉄砲を思いつき、紙鉄砲に発展した。自分達で的を作り、的当てを楽しんだ。

竹で遊びに使う目的の物が創り出せる

今までの経験を活かして協同的な遊びへ発展～船作り～



全長180センチの海賊船を作りたいという目的を持った。竹を切ることも釘を打つことも自信満々。回数を重ねることで、竹切りがどんどん上手になる。上手に切れるから「面白い」「もっと切りたい」「もっとやりたい」「自分たちできるよ」と、意欲にあふれる。

力を合せると本物みたいな物ができる

竹から様々な素材への広がり～基地作り～



園庭のどんぐり山に竹を組み秘密基地を作った。ペグで固定し、布を巻き、木で飾る、そこからロープ渡りや竹梯子、布の三つ編みを沢山組んでハンモック作りに発展した。

竹って面白い。いろいろな音ができる。色々な物が創り出せる

素材の広がりから、遊びの広がりへ～楽器作り～



カスタネット・マラカス・竹笛・竹のへら・鼓・竹琴などを作る。今まで竹に関して、経験を積み重ねたことで、竹を切ったり、工夫して作ったりすることに自信をもっている。手作り楽器を使ってみんなで演奏を楽しむ。



ポイント

3年という長い期間に亘って子どもたちが竹に関わってきたことで、興味を深め、素材の特性を知り、特性を活かした遊びへと発展しています。また、そこで生まれた気づき・発見を保育者が受け止め、子どもたちの発想が実現できるような援助がされていることで、教材の特徴を活かして、思いを実現する子どもたちの体験が深まり、技術も獲得していることが読み取れます。